



例会報告

高山西ロータリークラブ

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 井辺 一章
- 幹事 堺 和信
- 会報委員長 田中 晶洋



国分寺の紅葉 田中 晶洋

<会長の時間>

16 日(水)、清見中学校へ高山市キャリア教育を考える会の「出前講座」に出向いて参りました。青少年育成委員会の塚本委員長および大村さん、挾土さん、そして当日は校長・教頭等とともに不在の上、音響装置も不具合があった中、基調講演をしていただいた斎藤さんはじめ講師をして頂きました 8 名の方々、本当にありがとうございました。各教室を回らせていただき、皆さんが熱心に話をされている姿を嬉しく拝見して来ました事を報告し、会長の時間とさせていただきます。



年(1992)4月(株)ワコールに入社されたという事で、大変興味を持ちましたが、アクティブウェア事業部配属だったとの事です。

平成 14 年(2002)12月にワコールを退社。翌 1 月より半年間写真の現像、焼付、デジタル加工等の修業をされて平成 15 年(2003)7月、高山に戻られました。現在、(有)カメラのながを専務取締役。また高山市商店街振興組合連合会 副理事長等、商店街活動に忙しく関わっていらっしゃいます。どうぞよろしく願います。

<幹事報告>

◎東日観光(株)より

・国際ロータリー年次大会(アトランタ大会)参加旅行のご案内

<例会変更>

高山 … 12 月 22 日(木)は、忘年例会のため 18:30~角正に変更
12 月 29 日(木)は、定款により 休会

<受贈誌>

(財)米山記念奨学会(ハイライトよねやま 200)



(有)カメラのながを 専務取締役 長尾 和哉 様

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	33 名	1 名	34 名	39 名	87.18%
本日	29 名	—	29 名	39 名	74.36%

みなさん、今、現在、カメラ屋に用事ありますか？行きますか？私だったら行きません。

2001 年、デジタルカメラ出荷台数がフィルムカメラ出荷台数を上回りました。転換期での帰郷で、当然のごとく前職と比較して疑問を持ちました。待ちの姿勢で、売上予算がありません。また、資格がある職種でないため、売り場に立った瞬間、プロ扱いです。社長や従業員との思いの違いもありました。

2006 年「フォトスタジオモエ」を開設し、撮影事業を強化しました。また 3 年前からネットでの写真販売もスタートしています。私自身、昨年度フォトマスター 1 級取得し、やっとなが業務以外に撮影に出かけることが増えました。

これからのカメラ店のあり方として、品質が優れたプリント、豊富な商品知識で差別化をしていきたいと考えています。

地域のカメラ店として生き残れる道があると信じて、また、皆様の思い出の素敵な記録作りのお手伝いがさまざまな形で出来るものと信じて、カメラ店が必要でない時代に必要とされるカメラ店とはどういうものか、追求そして提案し続けて行く所存です。

<本日のプログラム>

会報委員会

委員長 田中 晶洋

会報委員長を拝命し、毎例会写真撮影に苦慮しておりますが、担当例会にあたり、どなたをゲストにお迎えしようかと思索した際に思い浮かんだのが、クラブ 50 周年の一連の行事の撮影でお世話になった、本日もお招きした長尾さんです。快くスピーチを引き受けて頂きありがとうございます。プロフィールをご紹介します。



長尾 和哉 様：昭和 43 年(1968)9 月 28 日 本町 1 丁目「カメラのながを」3 人兄弟の長男(弟、妹)としてお生まれになり、南小〜松倉中〜斐太高校と進まれ、早稲田大学商学部卒業。平成 4

例会報告

<ニコニコボックス>

●井辺 一章さん、堺 和信さん

- ・カメラのながを専務取締役 長尾 和哉 様のご来訪を歓迎いたします。本日の卓話を楽しみにしています。宜しくお祝い致します。
- ・飛騨国分寺の大イチョウの黄葉が今一番きれいです。今年は雪がいつ頃降り、多いのか少ないのか落葉が気になります

●田中 晶洋さん

本日は会報委員会担当例会です。ながをカメラ専務 長尾 和哉 様にお越しいただきスピーチをして頂きます。長尾様には50周年の記念写真をはじめ行事の撮影ではいつもお世話になっております。本日はプロカメラマンの視点からお話しいただきます。長尾様よろしくお祝い致します

●狹土 貞吉さん、平 義孝さん、長瀬 達三さん

長尾 和哉さんのご来訪大歓迎です。お父さんお元気ですか？今日の新会員？！スピーチ楽しみにしていました。『待っています』

●阪下 六代さん

長尾 和哉氏のご来会を歓迎いたします。いつもお世話になっております。残念な事に避けられない公務のため早退せざるを得ません。どうかお赦し下さい。|

●井上 正さん

- ・長尾 和哉さんのご来訪を心より歓迎いたします。長尾さんとはJ Cや日頃物件完成写真撮影等でお世話になっております。本日の卓話楽しみにしています。
- ・本日 21 時より NHKBS プレミアム「新日本風土記」にて高山祭りに秘められた歴史を特集し、私の父が森林や大工としての部分で少し出演させていただく事となりました。お時間ございましたらご覧下さいますと幸いです。|

●塚本 直人さん

11 月 16 日に清見中学校にて青少年育成委員会が主体となり「出前講座」を行って参りました。全体講話を担当していただいた斎藤さんをはじめ、ご協力いただいたメンバー10 名の方ありがとうございました。そしてもう1点、私の会社で毎月発行している「月刊タイム」が中日新聞に掲載されましたのでこちらでも感謝を込めてご報告いたします。これからも継続していきます。

●斎藤 章さん

先日の「出前講座」にて基調講演を担当させていただきました。内容的に少し難しかったとは思いますが、早口にて塚本委員長よりチェックが入り、ゆっくりと大きく話して下さいとの事で、実力が80%位しか発揮できませんでした。諸講師の皆様ご苦労さまでした。

●小森 丈一さん

昨日は家内の誕生日に花束を届けて頂きありがとうございました。どこに飾ろうか迷っていました。

●井辺 一章さん、田中 武さん、鴻野 幸泰さん、下屋 勝比古さん、大村 貴之さん、榎坂 純一さん、松川 英明さん、萱垣 敬慈さん

11 月 16 日 青少年育成委員会担当の『高山市キャリア教育を考える会 出前講座』。10 名の会員が清見中学校で講師をしていただきました。中学生に対し、仕事の経験談を踏まえ夢のあるはなしをしていただいたと思います。講師の皆様お疲れ様でした。12 月 2 日例会での報告を楽しみにしています。

●折茂 謙一さん

早退します。

座右の銘

斎藤 章



本年度の会報委員長から、それぞれの座右の銘に関する原稿依頼があった時、小生の座右の銘はなにかと考えたが何も無いことに気がついた。さすれば何を持って此の人生を生きてきたかなと考えると、2つの言葉が浮かんだ。一つは過去も未来もなく今がすべてであるとの思いともう、一つは自分の本当の心に問いかけて判断をすることである。

一瞬、一瞬の時間の連続が過去と未来を形成するのであるから、今しかないと思って頑張らねばと思う。過去に引っ張られ未来を夢見るのではなく、しっかりと大地に根をはって生き抜くこと。その判断基準として、自分の心の中心に他人を大切に思いやりの心を持って活動することが大事と思っています。いまある自分もそうした多くの人々の思いやり、援助により過ごさせて頂いた事に感謝の気持ちを忘れないように心がけています。

座右の銘

小森 丈一

『不易流行』



座右の銘、などと言うものは、特に持ち合わせてはいない。しかし時折、不易流行と言う言葉を口にする。

近年は変えてはいけない事を変え、変わって行かぬば、変えて行かぬばならない事が変わらない。事業経営でも、会の運営でも 又個人的な日常生活に於いてでもある。人の生き方にも、基本的に絶対変えてはならぬものと、時代に即応し勇敢に変えていくべきものとが有ることを自覚したい。

座右の銘

古橋 直彦

『及ばざるは
過ぎたるよりまされり』



「人の一生は重荷を負うて遠き道を行くがごとし」では始まる「徳川家康公の遺訓」の最後の部分です。

足りない方がやり過ぎてしまっているよりは優れている。謙虚な姿勢で優れたものから学び、自分のする事はまだまだ及ばない事として、何事にも励んでいかなければいけないという自戒の意味。

『過ぎたるは及ばざるが如し』と同じ意味と思われがちであるが、こちらは度を過ぎた事は少したりないというのと同じ様なもの。物ごとはすべからく中庸が大事だということ。